

新潟県 P T A

No.117

発行 新潟県小中学校PTA連合会
編集 広報委員会
 〒950-0965
 新潟市中央区新光町7番地2
 新潟県商工会館5階
Mail ngtknpta@coral.ocn.ne.jp
 ホームページもぜひご覧ください!
 新潟県PTA連合会

目次

- 1面 会長あいさつ・総会・役員一覧
能登半島地震支援募金の報告
- 2面 第22回新潟県PTA広報紙
コンクール
- 3面 第72回日本PTA全国研究大会
川崎大会
兼 第56回関東ブロック研究大会
川崎大会
日本PTA国内研修事業 参加報告
新潟いなほの会の紹介
- 4面 一般社団法人新潟県PTA安全互助会
からのお知らせ
小・中学生総合補償制度

県P連スローガン

子どもたちの未来に希望と夢を

～地域で育てる生きる力～

一人一人の想いを大切に

～情報共有で絆を深め、繋がり合うPTA～

会長 宮下 あさみ

会長就任2年目になりますが、昨年同様、引き続き温かいご理解、ご協力、ご支援を賜りますよう心からお願い申し上げます。

昨今、PTAについて様々な課題を耳にします。PTAの在り方や存在意義、何のため誰のために活動するのか等、多くの疑問を聴く機会が増えました。課題はたくさんありますが、本来あるべき姿は子どもたちのために力と心を合わせていく団体だと考えています。子育てという今しかできないこのときこそ、子どもたちが学校・地域へ貢献する大人の姿を見て、心豊かに成長していくときです。

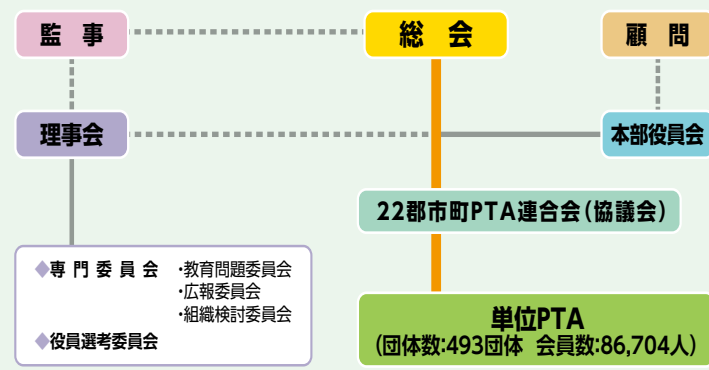
ご縁で出会い、そこから繋がりあう気持ちを大切に1年終わりました。今年度は、ウェルビーイングの考えを大切にして、“夢や目標を持ち、多様な人との繋がりを大切に、前向きに自分らしく生きる、これが幸せだと思えるようなPTA活動、みんなで楽しむPTA活動”が、単P、郡市P連、県P連と全県のPTAで展開していくことを願っています。そのために、昨年以上に情報共有をより一層強くし、互いに支え合いながら頑張っていきたいと思います。

また、いじめ防止のメッセージを留めることなく、今年度は「ネットいじめをしない。見逃さない。許さない。」という意識を醸成していく県の取組を県P連から強く発信していきたいと思えます。



令和6年度総会より

新潟県小中学校PTA連合会組織図 (令和6年6月8日現在)



令和6年度 役員

委員会…教：教育問題 広：広報 組：組織検討
◎委員長 ○副委員長

| 役職 | 所属 | 氏名 | 委員会 | 役職 | 所属 | 氏名 | 委員会 |
|-----|---------|-------|-----|-------|--------|-------|-----|
| 会長 | 長岡市出雲崎町 | 宮下あさみ | | 理事 | 新発田 | 八幡 祐太 | 教 |
| 副会長 | 妙高 | 今井 康弘 | 組 | 理事 | 五 泉 | 石田 丈 | 組 |
| 副会長 | 新発田 | 小野 洋 | 広 | 理事 | 燕・弥彦 | 今井 裕 | 教 |
| 副会長 | 十日町市津南町 | 藤巻 優樹 | 教 | 理事 | 村上市岩船郡 | 高橋 洋樹 | 教 |
| 副会長 | 新発田 | 長下部真太 | 広 | 理事 | 阿賀野 | 荒澤 浩和 | 広 |
| 監事 | 小学校長会 | 多田 和幸 | | 理事 | 佐 渡 | 計良 典孝 | 組 |
| 監事 | 阿賀野 | 百都 順也 | | 理事 | 胎 内 | 小野 智裕 | 組 |
| 監事 | 柏 崎 | 宮坂 哲也 | | 理事 | 聖 籠 | 大橋 彩生 | 広 |
| 理事 | 上 越 | 岩片 満 | ◎広 | 理事 | 阿 賀 | 佐藤 和之 | 教 |
| 理事 | 上 越 | 松野 幸博 | ◎教 | 理事 | 小学校長会 | 松岡 博志 | 組 |
| 理事 | 糸魚川 | 笠原 辰也 | 広 | 理事 | 中学校長会 | 大川 正史 | 教 |
| 理事 | 妙高 | 小林 隆浩 | ◎組 | 理事 | 教職員組合 | 米樹 将太 | 広 |
| 理事 | 長岡市出雲崎町 | 柿本 英信 | ○組 | 理事 | 教職員組合 | 鈴木 宏子 | 教 |
| 理事 | 長岡市出雲崎町 | 宮 正高 | ○広 | 顧問 | 小学校長会 | 山田 浩之 | |
| 理事 | 三 条 | 博田 亮輔 | 教 | 顧問 | 中学校長会 | 五十嵐守男 | |
| 理事 | 柏 崎 | 元井 万博 | ○教 | 顧問 | 県P連 | 佐久間哲平 | |
| 理事 | 加 茂 | 梅田 雄一 | 組 | 顧問 | 県P連 | 太田 一巳 | |
| 理事 | 見 附 | 平林 弘子 | 広 | 顧問 | 県P連 | 岩淵里江子 | |
| 理事 | 小千谷 | 瀧澤 茂 | 組 | 顧問 | 県P連 | 丸山 里子 | |
| 理事 | 十日町市津南町 | 柳 典孝 | 広 | 事務局長 | 県P連 | 玉木 浩 | |
| 理事 | 南魚沼郡 | 神保 貴雄 | 教 | 事務局次長 | 県P連 | 山下あい子 | |
| 理事 | 魚 沼 | 岡部 圭助 | 組 | 事務局員 | 県P連 | 大久保祐子 | |
| 理事 | 田 上 | 馬場 大輔 | 広 | 事務局員 | 県P連 | 羽田野悦子 | |

能登半島地震支援募金の報告

新潟県小中学校PTA連合会(以下県P連)では、令和6年能登半島地震で被災された子どもたちやPTA会員のために、(公社)日本PTA全国協議会(以下日P)が行う募金活動に協力する形で、1月に募金の趣旨に賛同する県内の単位PTAに対して募金を呼びかけました。

被災された方々に対して心からお見舞い申し上げますとともに、「令和6年能登半島地震支援募金」にご協力いただいた県内単位PTA等の皆様に対して、心より御礼申し上げます。

その結果、県内単位PTA等からいただいた支援募金及び日Pからの支援募金、その支援募金の使途について下記のとおり報告します。

- 新潟県内からの支援募金について
◎ 総額 2,749,313円 3月に日Pへ送金
 - 日Pから県P連への支援募金について
◎ 総額 4,495,408円
 - 日Pからの支援募金の使途について
 - 県P連所属の被災児童生徒への見舞金
100,000円×14名 計1,400,000円
 - 新潟県小学校長会と新潟県中学校長会を通じての被災児童生徒への見舞金
3,095,408円
- (1)と(2)の総額 4,495,408円

第22回 新潟県PTA広報紙コンクール入賞PTA

中学校の部 最優秀賞

糸魚川市立糸魚川中学校PTA

前PTA会長 中林 友幸

大変光栄な賞をいただき、ありがとうございました。

小学校の部 最優秀賞

胎内市立中条小学校PTA

広報部長 佐久間 純

今期も「つばさっ子」の生き活きとした表情を発信していきます。

PTA活動を振り返って

長岡市立青葉台中学校PTA

燕市立吉田中学校PTA

新発田市立豊浦小学校PTA

企画賞

糸魚川市立能生小学校PTA

上越市立大町小学校PTA

レイアウト賞

胎内市立胎内小学校PTA

写真賞

新聞の編集の仕事に携わって30年以上になります。取材で小中学校にお伺いすることはありましたが、家族など周囲に小中学生がいないことから、これまでPTA広報紙の紙面に接することはあまりありませんでした。それだけに「私が参加しても良いのだからか？」との思いを抱えて、審査に臨みました。

ただ、バラエティ豊かな各々の紙面に接するうちに、秀逸なレイアウトや表情豊かな写真の数々を見ながら、楽しく紙面を読ませていただきました。学校の主人公である児童や生徒の活動はもちろん、保護者の思いや、地域との関わりがいまひとつと伝わってきました。

各校それぞれ個性的な紙面でしたが、単に学校行事を紹介するだけでなく、PTAと社会との結びつきの強さを感ずりました。吉田中や豊浦小の広報紙でもPTAの視点に立った記事がありました。他の学校の紙面も、レイアウトや写真が非常に良いものがあり、審査は大変迷いました。

新聞の編集の仕事に携わって30年以上になります。取材で小中学校にお伺いすることはありましたが、家族など周囲に小中学生がいないことから、これまでPTA広報紙の紙面に接することはあまりありませんでした。それだけに「私が参加しても良いのだからか？」との思いを抱えて、審査に臨みました。

ただ、バラエティ豊かな各々の紙面に接するうちに、秀逸なレイアウトや表情豊かな写真の数々を見ながら、楽しく紙面を読ませていただきました。学校の主人公である児童や生徒の活動はもちろん、保護者の思いや、地域との関わりがいまひとつと伝わってきました。



(応募数：小学校12校 中学校6校)

| 校種 | 賞 | 単位PTA名 | 広報紙名 |
|-------|----|----------------|------|
| 小学校の部 | 佳作 | 上越市立大潟町小学校PTA | あらいそ |
| | 佳作 | 糸魚川市立大和川小学校PTA | かけはし |
| | 佳作 | 長岡市立深沢小学校PTA | 夕やけ |

| 校種 | 賞 | 単位PTA名 | 広報紙名 |
|-------|----|----------------|------|
| 中学校の部 | 佳作 | 南魚沼市立六日町中学校PTA | 六中 |
| | 佳作 | 柏崎市立第五中学校PTA | 秋津の里 |

※ 最優秀賞、企画賞、写真賞、レイアウト賞は、全国小・中学校PTA広報紙コンクールへ推薦いたします。

第22回新潟県PTA広報紙コンクールの審査を終えて

新潟日報社編集局メディア編集センター 第一部長 小黒 啓一様



第72回日本PTA全国研究大会
兼 第56回関東ブロック研究大会

川崎大会

令和6年
8月23日・24日

ウェルビーイングの実現を、川崎の地から ~活かそう「縁」の力~

日本PTA全国大会研究大会 川崎大会に参加して

副会長 今井 康弘



ウェルビーイングとは、「生きがいを感じられるような幸せ、瞬間的な幸せというより、広がりのある幸せ」、「自分だけでなく周りの人や社会的にも幸せな状態」とのことです。今回は、テーマごとに分科会を行うのではなく、参加者が一堂に集まり、各講演セッションでは隣同士でグループを作り、トークタイムを設け、聞くだけでなく自分の意見や思ったことを言葉にして最後にシェアしました。

今後のPTA活動も従来のやり方の踏襲ではなく、時代に合わせた方法で取り組むべきではないかと感じました。



参加して
きました!

◆メインテーマ◆

- 社会の大きな変化を学び、進化を考えるPTA活動
- 自己肯定感を高め合い、活力あるPTA活動
- 誰も取り残さない、居場所を大切にするPTA活動

日本PTA全国大会研究大会 川崎大会に参加して

新発田市P連 菅原 希



「ウェルビーイングの実現を」というスローガンのもと開催された川崎大会。様々な取組や研究結果に基づく講演の中で『まずは大人(自分)が楽しむこと!』というキーワードがたくさん出てきました。それぞれ個人が主体的に幸福を感じ、それが子どもへ…他者へ…地域へ連鎖し、ウェルビーイングに繋がるのだと。それならば、まずは目の前のPTA活動を楽しむことができるな!と。今回一緒に参加した各市P連・県Pの方々との交流からも学ぶことが多く、楽しい大会でした!ありがとうございました!!



日本PTA国内研修に参加してきました

令和5年度 日本PTA国内研修事業 参加報告

令和6年3月26日(火)～3月30日(土)に、国立沖縄青少年交流の家及び沖縄県立糸満青少年の家で、全国の中学2年生101名の参加で国内研修が行われました。沖縄県渡嘉敷村の方々との交流を通じて沖縄の文化や歴史についての理解を深めたり、海洋研修を通じて社会環境や自然環境について考えたり、集団宿泊行動を通して相互に交流しながらコミュニケーション能力や他者理解を高め、友情を深めることを目的に行われました。新潟県内から40名の参加応募があり、代表として2名が参加しました。

研修事業に参加して感じたこと

小川 未紘

私が今回の研修事業で感じたことは、沖縄県の美しさです。特に沖縄の海に圧倒されたのを今でも覚えています。新潟の海では見ることのできないケラマブルーやサンゴ礁、ウミガメなどを見ることができて、とても楽しかったです。他にも、沖縄に住む人たちの優しさ、心の美しさにも圧倒されました。沖縄の人たちは、「いちゃりばちョーデー」などという助け合い精神にあふれているような言葉を使っていて、沖縄県の美しい文化を広げていくべきだと感じました。

そして、地域活性化の難しさも感じることができました。地域活性化において大切なことは他地域、自地域をしっかりと見つめて、たくさんの人と助け合っていくことだと学びました。地域活性化をすることで、自分自身も地域と一緒に成長していくことができるということも教えていただきましたが、苦労をして渡嘉敷村を盛り上げようとしてきたからこそその言葉なのだろうなと感じました。

研修事業で感じたこと、学んだことを生かして、日本や世界の未来を明るいものにできるよう、努力していきます。



平和のために私ができること

大橋 諒子

はいたい! 私はこの研修でたくさんのことを学びました。沖縄の文化、沖縄の美しい自然、そして、そこからは想像できないほどの戦争の爪痕です。

沖縄県といえば、南国のように暖かく、ゆったりとしたイメージがありますが、今からおよそ80年前、第二次世界大戦が起こったとき、唯一地上戦が起こった場所です。地元住民をも巻き込んだ戦いで、沖縄県民の約4分の1が亡くなりました。

渡嘉敷島でも集団自決があり、329名が亡くなったそうです。私はこの研修で実際に自決が起こった広場も見ました。そこに立った私は「戦争は起こしてはいけない、たとえ起こったとしても、自分で自分の命をなげうってはいけない」と強く思いました。

私の将来の夢は外交官です。その夢に近づくためにこの研修に参加しました。今、この瞬間も争っている国と国があり、失われていく命があります。私はこの研修で感じた気持ちを忘れずに、国際問題を解決するお手伝いをします。



編集後記

川崎大会はこれからの進むべき教育、人の繋がり、社会の姿を示す場となり、ウェルビーイング(人それぞれにとつての究極的善い状態)により、本来あるべき人の絆、互いに認め合い、支え合い、共に生きる人の思いを呼び覚ます研究大会だった。今後も「繋がり」を大切にしていってほしい。今取り上げた能登半島地震支援募金やいなほの会の紹介など、繋がりよさについて発信していきたい。(広報副委員長 宮 正高)

いなほの会

(発達障害児者親の会)

に来て話してみませんか?

7月6日の県P連第1回理事会で、新潟いなほの会・発達障害児者親の会 沼田夏子様から、「発達障害児を持つ親の想い」について、ご講演いただきました。

すべての市町村に、子育てに関する様々な相談に応じて必要な情報・サービスを提供してくれる「こども家庭センター」が設置されているとのことですが、親の会として設立され活動されている「新潟いなほの会」を紹介します。

お子さんの発達について困ったと感じたり、育てにくさに気づいたりしたとき、また、お子さん自身が自己理解で悩んでいたなら、いなほの会で話してみませんか?

活動の概要

- ① 定例会：情報提供・話し合い・フリートーク
- ② いなほの窓口：新潟会場・長岡会場での相談窓口
- ③ 車座：車座形式での相談
- ④ 事例検討会：スーパーバイザーと支援計画を検討
- ⑤ 講演会：今年度は9月に終了
- ⑥ グループ活動：9グループで自主活動

※詳しくは、ホームページをご覧ください。



新潟いなほの会 検索



新潟県いじめ対策ポータル 新潟県 いじめ 検索 <https://www.ijimetaisaku.pref.niigata.lg.jp/>
いじめをしない、見逃さない、許さない
24時間子供SOSダイヤル [0120-0-78310](tel:0120-0-78310) または [025-285-1212](tel:025-285-1212)
フリーダイヤル なやみ見おう (通話料がかかります)
ijime@mailsoudan.org

(一社)新潟県PTA安全互助会からのお知らせ

安全普及啓発活動に 助成します!

新潟県P連・新潟市P連所属のPTA会員の安全と健康に関する意識の向上を図り、その活動を奨励するために助成金を交付しています。

- 助成額** 新潟県P連・新潟市P連の**単位PTA** 2万円以内
 22都市P連・8区P連 5万円以内
 複数単位PTA 5万円を限度に
- 申請方法** 申請書等の様式のダウンロードは、ホームページで検索してください。
 新潟県PTA連合会 → (一社)新潟県PTA安全互助会のページ
 ◎必ず活動前に申請が必要です。

申請事例

- 自転車交通安全教室 ○野生動物から身を守る講演会 ○救急法講習会 ○「ネットトラブル」防止研修会 ○思春期講座
- 薬物乱用防止教室 ○通学路の安全点検・標識製作 ○危険箇所整備 ○防災講演会 ○スポーツ障害防止研修会
- 人権講演会(いじめ防止・人間関係づくり) ○疾病予防講演会(うつ病・自殺予防) ○けがや病気を予防する栄養講演会

新潟県小中学校 PTA 連合会・新潟市小中学校 PTA 連合会 会員の皆様へ 【令和6年度】

小・中学生総合補償制度追加募集のお知らせ

(団体総合生活保険)

中途加入受付中!
＜5月～11月まで＞

毎月25日までに加入 → 翌月1日午後4時から補償
(最終補償開始日: 12月1日)
補償終期日: 令和7年4月1日午後4時

小・中学生総合補償制度は新潟県自転車条例に対応しています!

団体割引等の適用

特長 1

1万人以上の加入で団体割引等の適用により **約47.5%割安**
1日あたりに換算すると、約8円～(Cプランの場合)

特長 2

お子様やご家族が加害者に!?

示談代行付き(国内のみ)
個人賠償責任補償で安心!

学校から貸与されるタブレット端末を壊した等の賠償事故も時価額を限度として補償対象となります。

お子様ご本人だけでなく、
家族やペットが
起こした賠償事故も補償



「もしも」が起こった時に
大切なお子様を
24時間お守りする
「備え」のご案内です

特長 3

お子様がケガ

学校内・放課後・通学途中・
プライベートを問わず
24時間補償で安心!

全プラン特定感染症
危険補償特約付き

熱中症、O-157、
細菌性食中毒も補償!



イラスト ©東京海上日動

特長 4

告知も簡単

病気で入院した場合の
医療補償
(P5・M5プラン)



この広告は団体総合生活保険の概要についてご紹介したものです。
ご加入にあたっては必ず「重要事項説明書」をよくお読みください。
パンフレットが必要な場合には、下記の取扱代理店までお問い合わせください。
※保険の対象となる方またはその家族が、補償内容が同様の保険契約を他にご契約されているときには、補償が重複することがあります。

**簡単!ご加入手続きは
記入・投函するだけ!**

1月以降に学校から配布された **オレンジ色の封筒** をご確認ください。
加入依頼書を記入し、ご返送ください。(切手不要)
6月以降加入の場合の保険料は下記にお問い合わせください。

- 【引受幹事保険会社】 東京海上日動火災保険株式会社
 【非幹事保険会社】 共栄火災海上保険株式会社
 三井住友海上火災保険株式会社
 損害保険ジャパン株式会社
 AIG損害保険株式会社

●制度に関するお問い合わせ先
一般社団法人新潟県PTA安全互助会
(取扱代理店 有限会社新潟コーリン)
〒950-0965
新潟市中央区新光町7-2 新潟県商工会館5F
TEL 025-280-0361
(受付時間/月曜～金曜 9:00～17:00)

この保険は東京海上日動火災保険(株)を幹事とした共同保険契約です。
なお、医療補償については東京海上日動単独のお引受けとなります。
2024年8月作成 24TX-002899

